

ひとごとでは
ありません!!



歯周病

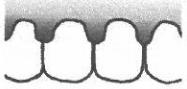
細菌感染によって、歯ぐきに炎症が起こる病気です。

こんなふうに進行します

①歯と歯ぐきの境目（歯周ポケット）に汚れがたまると、細菌が繁殖して炎症が起ります。

- ▶歯ぐきが赤くなったり、腫れたりする。

- ▶歯みがきのとき、歯ぐきから血が出る。

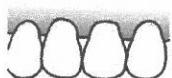


②歯周ポケットが深くなり、さらに細菌が繁殖して、歯を支える骨（歯槽骨）が溶け始めます。

- ▶硬いものがかみにくく。

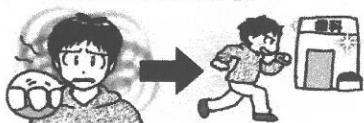
- ▶歯ぐきが縮んで、歯が長く見える。

- ▶歯みがきのとき、歯ぐきから血やうみが出る。



③歯槽骨がさらに溶け、歯がグラグラ動くようになります。

- ▶歯が自然に抜け落ちたり、抜歯治療が必要になる。



歯周病の自己チェック

1 CHECK!

- 朝、起きたとき、口の中がネバネバする。
- 口のにおいが気になる。
- 歯をみがくと、歯ぐきから血が出る。
- 歯ぐきが赤い。
- 歯ぐきがムズムズする。
- 食べものが歯にはさまりやすい。
- 歯が長くなってきた。
- 硬いものがかみにくくなつた。

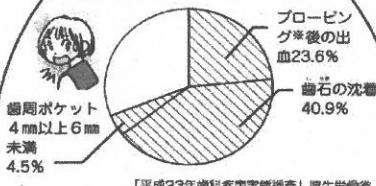
当てはまるものが3つ以上ある人は、歯科を受診し、指導・治療を受けましょう。



歯周病の実態

【15~19歳】

歯肉に所見のある者 69.1%

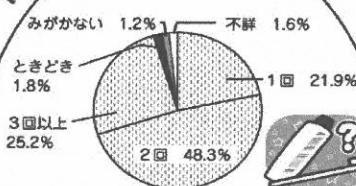


「平成23年歯科疾患実態調査」厚生労働省

15歳~19歳の3人に2人以上(69.1%)に「歯肉の所見」があり、そのうち、歯周病の目安となる「歯周ポケット4mm以上6mm未満」の人も4.5%という結果でした。

歯みがきの回数

毎日みがく 95.4%



「平成23年歯科疾患実態調査」厚生労働省

「毎日、歯をみがく」と答えた人の約半数は、「1日2回」。1975年の調査と比べて3倍以上となっています。
歯や口の健康についての意識の高まりが反映された結果です。

噛むだけじゃない!
歯の役割!!

※プローピング：器具を使って歯周ポケットの深さを測ること。

歯には噛むこと以外に、発音を助けたり、表情をつくる働きなどがあります。私たちにとってとても大切な歯をむし歯などで無くしたくはないですね。



食べ物をかみくだく
発音を助ける



顔の形を整え、
美しい表情をつくる
歯ごたえを楽しみ
味覚を豊かに保つ



残念ながらむし歯ができてしまった人は…

むし歯はしぜんになおることはあります。歯医者さんにいってなおしてもらいましょう。

☆☆☆歯治療が終った人は、保健室に用紙を持ってきて下さい!☆☆☆

健康診断が終りました

4月から始まった健康診断がすべて終了しました。再検査や、治療の指示があった場合は、夏休みなどをを利用して、病院を受診するようにしてください。検査や治療が終わったら、結果を保健室まで知らせてください。